

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	テーマパーク（職員）	・新規投資した展示物の反響が予想をはるかに上回っている。
	やや良くなる	一般小売店〔家電〕 （経営者）	・客の消費意欲が少しずつ好転している。
		百貨店（営業担当）	・製造業の受注が持ち直してきており、前年に比べると夏のボーナスがプラス傾向になっているので、多少、消費の期待ができる。
		百貨店（営業担当）	・クリアランスセールや、ギフトセンターの開設で、多くの来客がある。ただし、参議院選挙等もあり、政府の施策によって景気は変わってくる。
		スーパー（経営企画担当）	・昨年より増える見込みである夏のボーナスに期待している。
		コンビニ（経営者）	・地元企業の残業の増加と梅雨明け後の温度上昇により、やや良くなる。
		コンビニ（経営者）	・競合店の閉店に伴い、これまでよりも7%くらいの改善ができる。
		衣料品専門店（統括）	・異業種の方などから状況は非常に悪いという話をいろいろ聞いているので、祭り関連の製品を扱っている店も、今後最盛期に入るが、どうなるものかと心配していた。しかしこのところ、いくらか手応えが出てきている。
		一般レストラン（経営者）	・プレミアム付き商品券の有効期間も間近となり、また、子ども手当等による効果も出始めているので、多少期待が持てる。
		スナック（経営者）	・多少、上向きの傾向が出てきているので、この調子でいって欲しい。
		旅行代理店（副支店長）	・海外旅行の需要が徐々に前年を上回ってきた。前年はインフルエンザ等で旅行を控える人が多かったので比較にはならないが、さらに前の08年度と比較しても、103%以上の状況になっているので、景気が上向いてきている。
		通信会社（経営者）	・同業者と顧客内に景気低迷の底を打った感が広がっている。広報の見積り依頼もそこそこ増えている状況から、2～3か月後には受注につながっていく。
		その他サービス〔立体駐車場〕（従業員）	・先月は設立4周年記念のイベントをしたため増えたのかと思っていたが、今月も依然同じような状況が続いている。また、月ぎめなどの今後の契約状況についても順調な伸びを示しているし、客の様子からしても良くなる。
変わらない	商店街（代表者）	・客の儉約志向が定着し、余分な物を買わなくなっている。	
	商店街（代表者）	・近郊の工場に向いて話を聞いても、受注が少なく、工員が何もしないでじっとしているのが情けないと言っているので、悪いままで変わらない。	
	一般小売店〔家電〕 （経営者）	・ボーナスシーズンの割に商品の動きは鈍い。猛暑を期待して季節商材の在庫を抱えたいところだが、先行きの不透明さから、消費者の買い控えに対抗するような強気な商売ができない。	
	百貨店（総務担当）	・先月、当商圏で大手スーパーが閉店し、その分の売上が当店にプラスとなるかと期待していたが、あまり売上が伸びないので、全体的に買い控えをしている感じがする。通常の伸び率が今月はまだ超えておらず、全体的に景気は悪い。	
	百貨店（営業担当）	・最近、消費抑制傾向から脱しつつある一方、将来の不安などの懸念材料や消費税の今後の議論等、消費マインドを慎重にさせる要因が払しょくしきれないことから、消費は横ばいで変わらない。	
	百貨店（販売促進担当）	・ボーナス支給額は前年を上回る企業が多いという報道を目にするが、依然として可処分所得が低いことには変わりなく、消費につながるとは思えない。生活防衛疲れからか、消費行動は上向きになりつつあると感じるが、大幅な景気回復には至らない。	
	百貨店（販売促進担当）	・一部では回復基調の報道も聞かれるが、実感としてはまだまだという感否めない。個人消費がやや上向きなのは節約疲れが主たる要因で、一過性のものである。	
	スーパー（総務担当）	・製造業では受注が回復傾向にあるとのことだが、消費者の収入増にまではつながっていない。	
	スーパー（総務担当）	・際立って売上が伸びているという部分は無く、全体的に横ばいでほぼ前年並みであり、特に良いところも極端に悪いところもないという状況が続いている。	

スーパー（統括）	・大型安売り店出店の影響で、全体としては1点単価はますます下落傾向にあるが、品質に一定の安心感を求める傾向から、一部の商品、特に日配品で低価格商品ではなく、原料や産地にこだわった商品の伸びが顕著である。
コンビニ（店長）	・世の中では少し景気が良くなっているような話であるが、当店の場合は特にぜいたく品などもなく、景気自体は変わっていない。また、本当に最低限必要なものを買われるだけで、不要不急のものを一品買い足すような買い方はこのところずっとない。
衣料品専門店（販売担当）	・悪くなる一方であるが、この悪さは残念ながら今後も継続し、変わらない。この数日間は、サッカーワールドカップの効果や、気温が高い影響もあり、比較的客の流れが良くなってきている。精神的に安心感があれば、消費行動もそれなりに変化してくると実感している。
家電量販店（営業担当）	・昨年はエアコンが売れていたが、今年は売れていない。エコポイント終了後のテレビの売行きが厳しいのではと不安である。新型多機能情報端末が発売されたので、今後、期待したい。
乗用車販売店（営業担当）	・客の購買意欲が出始めてきているが、契約までは時間を要し、途中で駄目になってしまうケースもあり、まだまだ不安定である。
乗用車販売店（販売担当）	・エコカー減税、補助金の駆込み需要で現在の販売量が推移しているのので、補助金制度終了後が怖い。2～3か月後は変わらない。
自動車備品販売店（経営者）	・身近な企業の工場の仕事が少なくなっており、また、工場そのものが外国に行ったり、行くという噂があって、不安要因が大きい。
住関連専門店（店長）	・来客数は前年並みになってきているが、客単価が下がっている。
住関連専門店（開発業務責任者）	・株価の不安定さと年金等将来に対する不透明さがある。
観光型ホテル（営業担当）	・ここ数か月で観光事業に影響の出る要素も思い当たらず、また第三次産業は景気動向の動きが見え始めるタイミングが遅いので、すぐに動きがあるようには思えない。
都市型ホテル（経営者）	・世間の不安材料が一杯で見えない。
都市型ホテル（支配人）	・やはり、経済情勢が良くなって、出張その他のビジネスマンの動きが良くならなければ宿泊の需要は増えない。現状では先の景況がよく見えないので、変わらない。
旅行代理店（従業員）	・旅行業界は景気の動向に左右されやすい業種なので、世間の雰囲気が悪くならないと当分低迷は続く。
旅行代理店（副支店長）	・3か月先の受注数は前年と比べ同じか少し多いような気がするが、仕事自体は小さく、薄利のものが非常に多い。また、大口団体が減少しているため、契約額も非常に薄利な価格である。金額が伸びる海外旅行も旅行離れがあり、受注が少ない。
通信会社（局長）	・ボーナス期、夏休み等で一時的な販売の変化は期待できるが長期的な傾向とはならない。
通信会社（営業担当）	・客に対応しても、最後の最後には購入見送りという場合が依然多い。
通信会社（営業担当）	・まだまだ夏のボーナスが支給されない企業も多い。さらには消費税の話も出て来て財布のひもは緩まない。
ゴルフ場（従業員）	・来場予約が増えていない。
ゴルフ場（支配人）	・予約状況は前年とほぼ変わらないが、周辺のコースと単価について大変厳しい争いになっている。
ゴルフ場（業務担当）	・このところ、入場者は前年比マイナスの状況が続いているが、売上は単価が前年を少し上回っている。先行きについては、ほぼ前年並みの取込みをしているので、入場者は若干下回るかもしれないが、単価はほどほどで、今期の7割ほどの売上が確保できるので、総体的にはあまり変化はない。
その他レジャー施設 [アミューズメント] (職員)	・一部大企業と違って、我々一般の中小企業は、やはりそれほど景気を持ち直しが感じられない。どちらかと言うと給与体系の見直し、値下げの傾向にあって、今後3か月を見ても、新しい良くなる要因は今のところ見当たらず、このままの状態がしばらく続く。
その他サービス[清掃] (所長)	・ボーナス支給、夏季休暇や中元など、景気が回復する材料はあるが、必要以外の商品等には回さないため景気は良くなるらない。
設計事務所（経営者）	・新しい仕事の話が無く、今抱えている仕事も少ない。

		設計事務所（所長）	・参議院選挙がどういふ結果になろうとも、すぐに景気が良くなるものでもない。景気が上向いていると感じているのはごく一部の業界であって、建設関連業種は相変わらず景気の底辺をはいつくばっていかねばならないとあきらめムードの状態である。	
		設計事務所（所長）	・1か月後には夏休みもあり、稼働日数が少ない日程で、いかに効率よく動くかが今後の課題となる。	
		住宅販売会社（従業員）	・受注状況の急激な好転は望めず、もうしばらくは苦しい状況が続くと見込まれる。	
やや悪くなる		商店街（代表者）	・今、シーズンでこのような状況なので、2、3か月先になると、今よりも悪くなる。	
		商店街（代表者）	・子ども手当が支給されて消費に回れば商店街も幾分潤うのだろうが、あまり期待ができない。	
		一般小売店〔乳業〕（経営者）	・まだまだ消費意欲の縮小は続く。	
		衣料品専門店（店長）	・初秋ものは天候に左右されやすいので、涼しい日が続けば秋物の立ち上がりは早くなり、売上が取れるのだが、例年残暑が厳しく、あまり期待できない。	
		家電量販店（店長）	・12月で終了するエコポイント商品が回復して動きが出なければ、やや悪くなる。	
		乗用車販売店（営業担当）	・補助金の終了に伴い、販売量が減少する。	
		乗用車販売店（販売担当）	・当社関連の企業が支店を撤退させたり、他社ディーラーが販売台数の落ち込みや経費の削減のために個人店に店舗を譲ったりと、全く先が読めない状態である。各営業所、支店でも、輸入車を扱っている所はほとんどと言ってよいほど撤退したり縮小したりしており、これから先も輸入車の販売が伸びるという要素が全く無いと思うので、当社などの輸入業者、輸入車を売っている所は全く先行きが見えない。	
		乗用車販売店（管理担当）	・消費者の購買意欲があるようには見えず、先行き不透明の状況においては今後は消費低迷が続く。	
		高級レストラン（店長）	・政治や経済の先行き不透明さに加えて、地域の集客力低下、中心街の衰退が著しく、底の見えない状況が続いていく。	
		一般レストラン（経営者）	・あらゆる異業種の人と話す機会があるが、皆一様に景気が良くないと話している。それぞれの業者が、なかなか景気が良ならず、非常に苦しんでいる。	
		都市型ホテル（スタッフ）	・駅前にまた新しくホテルがオープンし、飲食店もたくさん出店しており、老舗の店が撤退して、居酒屋風の店が多くなってきている。我々の店も古い建物になっているので、大変厳しい。	
		都市型ホテル（スタッフ）	・総会関係が終わって、せいぜい暑気払い程度の動きしかないもので、夏はどうしても動きが鈍ってしまう。また、宿泊に関しても、スポーツ関係、学校関係などいろいろイベントが若干あるが、関東地区内での持ち回り開催になると、今年は当地でないこともあり得るので、宿泊は減少する。	
		タクシー（経営者）	・5月が良かったので、6月も良いと思っていたが、月末から悪くなったので、この先も不安である。	
		遊園地（職員）	・一般家庭の所得減少による消費マインドの冷え込みが、レジャー支出抑制につながっており、この影響が大きいので、もうしばらくは消費単価の大幅な伸びが期待できない。	
			設計事務所（所長）	・サッカーワールドカップの盛り上がりはあるが、それが景気や消費拡大に結び付かない。この状態を脱する材料が見当たらない。
			住宅販売会社（従業員）	・来客数の落ち込みが続いていることに加えて、資料請求数が前年比50%以上の落ち込みとなっている。
		住宅販売会社（経営者）	・消費税増税の雰囲気、消費の低迷が予想され、一段と消費が冷え込むことが考えられる。その影響で悪くなる要因のほうが多い。	
悪くなる		美容室（経営者）	・例年より今年の方が売上が減少しており、6月のボーナスは今年も出せなかった。家族での旅行等で消費の動向が変わって、夏休みにはいっそう、来店回数が減っていくだろうと推測している。出入りの銀行員もこの不況で逆にお金を貸せない、借りて欲しいところは絶対と言ってよいほど借りない、と本音を漏らしている。	
企業動向	良くなる	その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・自社開発の環境装置の直接の5年間リースのため、先にかくほど安定する。	

関連	やや良くなる	食料品製造業（製造担当）	・ 出店する店舗があるので、生産量は確保できる。前年比でほぼ90%に上がりつつあるので、売上は良くなってきているが、肝心の利益が思うようには上がってきていないので、これからである。
		金属製品製造業（経営者）	・ 得意先からの話では、8月になったら仕事が出るようになってきているので、それに期待して良くなる。
		一般機械器具製造業（経営者）	・ 全体の数字としては、まだまだ低調ではあるが、建設機械関連の増産が軌道に乗るとともに、自動車を中心とする新規開発案件の増加が予想される。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・ 10数社取引先があるが、大分多くの取引先で仕事量が徐々に増えてきているので、これからやや良くなる。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・ メーカーの国内販売はさほどではないが、北米、中国への輸出が非常に好調に推移し、今後もそれが維持される。エコカー購入補助金の終了以降を心配しているが、3か月インフォメーションを見ると、高水準の受注を維持しているの ・ 引き続き景気は上昇傾向に入っていると見ている。
		金融業（経営企画担当）	・ 若干ではあるが、観光地で外国人観光客、特に中国人の増加を見込んだホテル、旅館等の新築、増改築等の設備投資資金需要が見られる。
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・ 客の引き合いや受注状況から見て、少しは改善される。	
変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	・ 店頭商品の新製品受注がいくらかあるが、2～3か月前の受注は未定である。	
	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・ 大変厳しい状況が続くことは変わらないのではないと思うが、参議院選挙でどのように政策の変化がみられるか、期待するところである。	
	一般機械器具製造業（経営者）	・ 不確定ながら10月から若干作業量が増加する見通しであるという情報がやっと入ってきた。もう少しの辛抱と思う。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	・ 今まで作っていたものは増えないと思うので、医療とか環境関係の国内生産が増えれば変わってくる。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・ 当社は製造、外注であり、客先の動向に左右されてしまう。中堅の客先からは相変わらず受注がない。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・ 産業用の機械が少し動きだした気がするが、公共関係の注文が全く出ないため、厳しい状況である。民間は活発化してきているが、以前と違って単価がかなり厳しく、経営状況は苦しい。	
	電気機械器具製造業（営業担当）	・ 客先、取引先の様子を聞いても、仕事が無いという話が多く、先行きの見通しがなかなか立たない。	
	輸送業（営業担当）	・ 子ども手当の給付が始まって購買意欲が押される層も出てきている。家電、雑貨、ネットショップ、テレビショップや様々なレジャー品などの輸送も右肩上がりに上がっている。しかしながら業界的にデフレ経済の中、単価自体は割安のものが多く、燃料は一時的に下がっているものの、コスト削減も求められているので利益確保は難しい。	
	金融業（総務担当）	・ 取引先によって業績が堅調なところとそうでないところのばらつきが大きく、今後も今と同様の状態が続く。	
	金融業（役員）	・ 各業種とも新たな設備投資計画が見られず、資金需要の背景は相変わらず赤字補てんが数多く見られる状況にある。	
	不動産業（営業担当）	・ 周りに国の機関や研究所が多いが、そういうところは今いろいろと予算を削られていることもあり、不動産、ホテル関係は、良くなる様相というのがない。現実的にこの地域で仕事が多くなっているという雰囲気は無いが、極端に悪くなることはないので変わらない。	
	広告代理店（営業担当）	・ 地方景気はまだまだ良くなる兆しが見えない。生き残れる会社かどうか、答えが出る時期が来る。	
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・ 製造業に明るさが見え始めたとの話もあるが、リース会社の話では、設備投資もそれほどものは少なく、修繕やメンテナンス的な費用が多いと聞いている。小売業では家電、車等は比較的好調だと聞くが、衣料、雑貨はじめ売上が伸びていないとの話も多く聞いている。	
	経営コンサルタント	・ 小売業、消費財関連業種は今後の給与所得等の動向いかんと思われる。他方、企業の投資活動はやや動きがあるものの、部分的であり地域経済全体の押し上げ効果には遠い。	
社会保険労務士	・ 相変わらず単価を下げて売上を伸ばそうとする動きが強く、値下げ要請が厳しい。デフレ傾向が続き、回復するのはまだ先だと思われる。		

	やや悪くなる	化学工業（経営者）	・これから夏休みに入ってくると、取引先の需要も落ちて来る。注文もだらけてしまって、なかなか成約がしにくくなって来る。
		電気機械器具製造業（経営者）	・まだまだ長期的受注は得られない上、今ある仕事もいつ減るか不安が続いている。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・悪い状況が続いていて状況は変わっていない。在庫調整や経費の削減で対応しているが、徐々に体力が落ちている。
		不動産業（経営者）	・全体的に見て、若年層の支出額の減少と、消費に対して慎重な様子が見受けられる。日本全体の消費力が落ちてきているようで、身近で接する若者には、完全雇用の若者が多くなく、不安定な就職が定着しているように観察される。
	悪くなる	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・関係の会社がまた一つ倒産することになった。
		建設業（総務担当）	・5月から、受注の大幅減が原因となって、県内建設業の倒産が多かったのだが、現在の発注状況を踏まえると、今後も建設業倒産が続くことは間違いない。当社も金融機関から新規融資が受けられないので大変厳しい状況が続いている。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・介護関係、サービス業の賃金引き上げが難しい上に、まだ野菜関係では値段の高いところが目立っていて、消費が厳しい状況で、動きは横ばいかと思われる。医療関係もなかなか売上が伸びておらず、他社でもボーナスが出る所もあるので幾分期待は持っているようだが、厳しいのではないかと。
		人材派遣会社（営業担当）	・パート等の臨時系の求人が活発で、この種の人材の獲得は、中小企業が意欲あう盛である。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・製造業では生産量の回復はして来ているが、求人をしてまでの安定的な回復にはまだまだ至っていない企業が多い。
		職業安定所（職員）	・派遣求人等の増加が目立っており、事業所の直接の雇用、求人も増えつつあるが、内容的には良くなっているとは思えない。なお派遣の求人を見ても短期的なものが多い。
		職業安定所（職員）	・雇用調整助成金の申請をする企業は前月より若干減少してきているが、新たな雇用調整の相談企業も出てきている。
		職業安定所（職員）	・中小企業を中心として求人、採用への意欲が低く、特に正社員に関して顕著である。窓口を訪れる求職者の動きに落ち着きが表れてきているが、企業側の受け入れは狭いままの状態である。
		職業安定所（職員）	・産業別で見ると、福祉、医療関係の求人では依然として人手不足の補充求人が多い。製造業の集中する地域は求人全体では12%程度だが、派遣、請負、パートといった求人割合が大変多く、景気回復のテンポは引き続き緩慢と考えられる。
		職業安定所（職員）	・製造業、とりわけ食品製造、デバイス系の受注量が、徐々に減少しつつある。また、今後も増加する傾向が見受けられないので、しばらくはこのままの状態が続く。
	やや悪くなる	民間職業紹介機関（経営者）	・製造業における現業部門の海外シフトは衰えを見せず、人余り状況を吸収する他業種も力が弱く、業績を伸ばす企業と現状維持あるいは減少する企業との差異が明確になってきている。中高年の再就職が困難な状況にあり、技術力、専門力が乏しい求職者には、受難の状況が続いている。
		学校〔専門学校〕（副校長）	・活発な市場であった医療、福祉の分野でも充足率の高まりなのか、あまり採用が活発になっていない。景気の影響か、欠員が出ないようである。他業種も同様で、一括管理での採用試験が行われ、非常に厳しい。
	やや悪くなる	人材派遣会社（管理担当）	・参議院選挙後の派遣業界は労働者派遣法の改正等があると思うので不安である。終身雇用の世の中が少しずつ雇用形態を変化させてきたのに、突然注目されたため、法的な対策を打たれるのはとても不安である。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・まだまだ地方の景気は冷え込んだままであり、回復にはしばらく時間が掛かりそうである。
	悪くなる	-	-